

歴史講話・定例研究発表会のご案内

佐世保史談会会長 中島 眞澄

陽春の候、皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。
4月の歴史講話および定例研究発表会を下記の日程で開催いたします。
会員の皆様はじめ、市民の皆様のご来場をお待ちしております。

なお、コロナ感染状況によっては延期、または人数制限をすることも
あります。その際はなにとぞご容赦をお願いいたします。

日 時 令和3年4月24日(土) 13:00~15:45
会 場 佐世保市立図書館 3階視聴覚室
(公共交通機関でお越しください)
主 催 佐世保史談会
参加費用 200円(資料代)

問合わせ先 廣田 昌 呂 氏 32-4464

(1) 歴史講話 13:05~13:45

話 題 歴史が好きになる「きっかけ」について

— 好きになる原点を探る —

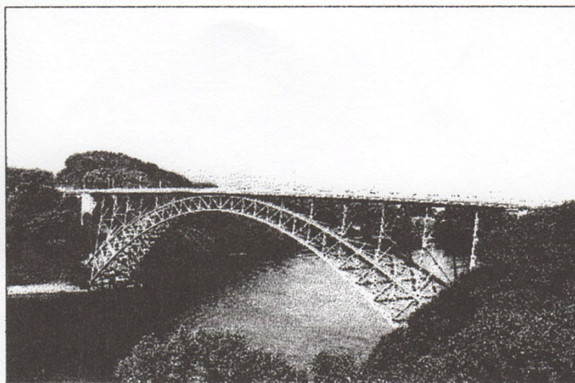
講 師 古川 久仁生(ふるかわ くにお) 会員

(2) 定例研究発表会 14:00~15:45 (質疑等含む)

主 題 西海橋建設の歴史について

発表者 西海市教育委員会 社会教育課文化スポーツ班 係長
原口 聡(はらぐち さとし) 氏

昭和30年竣工の西海橋は、我が国の戦後長大橋の出発点といえる海峡横断橋で、戦後土木施設として初めて国の重要文化財に指定された。明治時代以後、本県でも道路や鉄道が建設され交通の近代化が進展する中、北部を海で隔たれ、船による交通に依存せざるを得ない西彼杵半島の住民にとって、架橋は戦前からの悲願であった。しかし、実現に至る道のりは決して平坦ではなく、紆余曲折と多くの関係者の努力があった。このような西海橋建設の歴史的背景を紹介する。



西海橋(西海市側南西から望む)